

時の階

平成 27 年秋号
(創刊第 1 号)

平成 27 年 12 月 1 日発行
三郷市文化財サポーター
代表

発行：広報部会

文書資料・民俗・記録広報

三部会発足しました

三郷市文化財サポーターも活動が
始まって早一年、この春より、第二
期メンバーの 9 名も加わり、総勢 2
5 名の体制になりました。

そこでこのたび、文化財サポータ
ーをより拡充するために、あらたに
文書資料部会、民俗部会、記録広報
部会の三つの部会を立ち上げるこ
とになりました。

これら部会を中心に、より積極的
に、郷土資料館の充実のための活動
を行っていくことになりました。



郷土資料館に置かれている文化財
サポーターのネームプレート。

文化財サポーター活動にちなみ

三郷市文化財専門嘱託員 浅野 信英

平成二十六年六月に郷土資料館が
開館して早や一年と四カ月、それよ
りに発足した我が「文化財サポー
ター」の活動は一年半が経過しまし
た。今では第二期サポーターのメン
バーも加わり、もはや、サポーター
の存在なくしては、資料館活動は考
えられないほどになりました。サポ
ーターの力、まさにここにありです。
部会も、文書部会、民俗部会、そ
して、この会報の発行を担当する記
録広報部会が発足し、各部会が分
担・協調し合い、各々に郷土資料の
調査と收集整理、展示などの活動が
益々活発化しています。詳細は、本
誌上に掲載の各部会の活動報告をお
読みいただければ良く理解していた
だけだと思います。

郷土資料を展示活用する郷土資料
館を取り巻く社会環境は大きな変化
を見せています。即ち、一昔前まで
は、地方自治体が資料館を建設し、
一部には一般市民はそれを見て行け
ばいいの上から下目線で運営され
ていた感も否めませんでした。

しかし、昨今は、資料館と收藏資
料は、市民の共有財産、よって、そ
の活用と運営は市民目線で市民参加
の共同事業との考えが主流になりつ
つあります。このような時流の中、
我が文化財サポーターはその先端を
走り始めたと言っても過言ではあり
ません。まだまだ課題も多いと思ひ
ますが、今後とも多面的に活動を広
げ、一層発展することを願ってやみ
ません。

特集

夏の展示替え

この夏、資料館ではサポーターのみなさんのご協力のもと、さまざまな展示替えを行いました。

展示替え案内①

夏のこぼなし

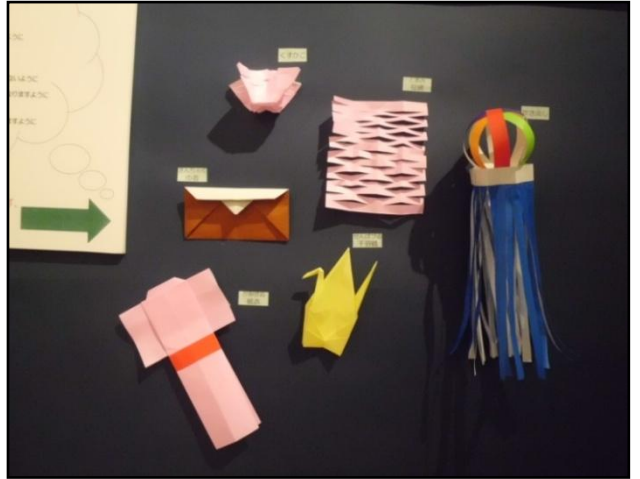
七夕とお盆

展示期間

7月5日～8月9日

七夕の季節に合わせ、展示室奥のパネル展示コーナーに七夕に関する展示が行われました。

サポーターのみなさんの作られたいろとりどりの七夕飾り、短冊の色とのかかりから、「五行説」についての解説や寄贈された干支絵馬などが展示されました。



展示替え案内②

三郷のお盆

展示期間

8月3日～8月16日

サポーターの菅野さんより、盆飾りを借用して、三郷の伝統的なお盆のようすを紹介する特別展示が行われました。

資料調査及び資料借用は7月24日に行われました。突然の雷雨などもありましたが、無事、資料が資料館に搬入されました。

展示の設営は8月3日に行われました。

展示室の一角に最近は見かけられることも少なくなった、三郷の伝統的なお盆のようすが再現されました。

(右下…菅野さん宅での作業)

左下…資料館での展示作業に参加されたみなさん)



展示替え案内③

展示替え案内③

彦成村全図と

三郷の変遷

これまでながらく、戸ヶ崎の三匹の獅子舞が展示されていたスペースに新たに地図で三郷市のうつりかわりを紹介する展示が始まりました。

今回の展示の目玉は、大正十年に作成された巨大な三〇〇〇分の一の彦成村全図です。

各地域の小字まで記入されており、当時の彦成地区のようすが詳細にわかります。

そのほかにも各地の土地利用の変遷などがパネル展示で紹介されています。

連日の猛暑の中、7月27日～30日に浅野先生のご指導の下、彦成村全図の展示やパネル作成などの作業が行われました。

(右：彦成村全図の設置。
左：パネルの作成)



展示替え案内④

お歩射展示

サポーターの久木田さんのご提案により、8月3日、お歩射の展示がリニューアルされ、より見やすくなりました。



展示替え案内⑤

夏の道具・蚊帳

お盆の展示終了にともない、資料館奥の展示が「むかしの農家の暮らし」のジオラマに戻されましたが、そこにサポーターの方よりお借りした蚊帳を吊りました。

最近見かけなくなった、懐かしい昭和の夏の光景がよみがえりました。来館された方の胸の奥にも懐かしい思い出がよみがえれば幸いです。



各部長さんより一言

【文書資料部会】

文化財サポーターの

広報発刊によせて

文化財サポーターの活動が二年目になり、新しいサポーターも加わって、いよいよ三郷の文化財保護活動が活発化し始めました。そしてこのたび広報の発刊となりました。

記録広報部会の方々によって、未
永い継続となれば、それこそが民俗
文化となっていくでしょう。活動機
会の少ない方にも、他の方の状況が
見えてくるでしょう。また、他の部
会の活動状況が判るでしょう。サポ
ーター間のコミュニケーションが密
になり、活動の方向が見え、結束し
た保護活動ができるでしょう。
部会所属の方だけでなく、サポー
ター全員で、充実した内容にしてゆ
きたいものです。

文書資料部会 久木田寛邦

【民俗部会】

民俗部会活動スタート！

民俗部会の会員は17名。活動を大

きく分類すると、①資料整理 ②資

料調査 ③展示紹介である。

重点活動としては彦成小学校講堂
記念館の民俗資料の整理と台帳作成。
近所に在住の部員を中心に進め、資
料展示とイベントの館として活用で
きるようにする。

②の資料調査は9月14日、彦成の
安書さん宅にうかがい食器類など多
くの財をもらい、又、資料調査に関
する貴重な体験もできた。情報収集
にも努めてゆく。

③の展示については、9月の十五
夜、10月十三夜と展示すべく活動
夏の名残の蚊帳とゆかたを背景とし
て飾りつけた。里いも、栗など生野
菜が供えられずさびしいが、地元の
風習をもつと学び、郷愁豊かな展示
内容としたい。

民俗部会長 相徳 昌平

【記録広報部会】

サポーターのネームプレートを創
刊号に掲載したワケ

今年、高校野球は100周年とい
うことで、猛暑日が続いた甲子園は
大フィーバーでありました。三郷市
文化財サポーターも昨年めでたく発
足して今年で2年目、そして後98
年経つと100年になるわけです。

その時、100年前の初代サポータ
ーは俺たちなんだぜ、と100年後
のサポーター諸君に胸を反らせたか
ったからであります。子供ばいとは
お思いでしょうかどうか御寛恕あれ
かし。

頓首

記録広報部会長 中山 芳一

編集後記

ようやく三郷市文化財サポーター
の広報誌の第一号を発行することに
なりました。

タイトルは目頃より、サポーター
をご指導くださっている浅野先生に、
名付けていただきました。

今回、ご紹介させていただいたよ
うに文化財サポーターのみなさんは
皆さん積極的に活動しています。

今後も継続的に皆さんのサポータ
ーのみなさんの活動を発信し、郷土
資料館がよりすばらしいものになる
一助となればと思います。

次回、冬号は来年2月ごろの発行
を予定しています。特別展関連の活
動を中心に、サポーターのみなさん
の活躍をご紹介しようと思います。